

2021年度 国公立大学入学者選抜試験一覧

※2021年度大学入学者選抜試験について掲載しています。なお、教科・科目については変更点のみを記載しています。

※一部の総合型選抜、学校推薦型選抜、二部、夜間部、フレックス制は除いています。

※掲載内容については、今後変更等の可能性もあるため、各大学公表の最新情報を大学HP等で必ず確認してください。

※一覧内では、「大学入試センター試験」を「センター」、「大学入学共通テスト」を「共通テスト」と記載しています。

※従来の「一般入試」は「一般選抜」、「AO入試」は「総合型選抜」、「推薦入試」は「学校推薦型選抜」へそれぞれ名称変更されます。

★「英語認定試験」について

「英語認定試験」とは、大学入試センターから認定を受けた英語の資格・検定試験のことで、活用方法は各大学によって異なりますが、国立・公立大学共に、受験を課すことが基本となります。

【2019/10/25版】

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 | |
|--------|-------------------------------|--|-----------|--|--|--|
| 旭川医科大 | 医 | 医 | 後期 | 選抜方法 個別 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績、または高等学校等による「A2」以上であることを証明する書類の提出を出願要件とする 理+面⇒英+面 | |
| | | | 看護 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績、または高等学校等による「A1」以上であることを証明する書類の提出を出願要件とする | |
| 小樽商科大 | 商 | 商(英語重視枠)、(数学重視枠) | 前期 | 選抜方法 | *数学重視枠新規実施、現行方式を英語重視枠に名称変更(英語重視枠)、(数学重視枠):280人 ※すべて仮称 | |
| | | 商(英語重視枠) | 前期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉出願要件として活用し、共通テストの英語に加点する | |
| | | 商(数学重視枠) | 前期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉出願要件として活用する。CEFRの段階別評価は問わない | |
| | | 商 | 後期 | 募集人員 | 90人⇒70人 | |
| | | | 後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉出願要件として活用し、共通テストの英語に加点する *調査書の扱い 「調査書および活動報告書」による多面的な評価をし50点満点で加点 | |
| 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜「グローバル総合入試」新規実施(一般枠):15人、(理系枠):5人 ※すべて仮称 共通テストはいずれも課さない | | | | |
| 帯広畜産大 | 畜産 | | 前期 | 選抜方法 個別 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする *総合型選抜「グローバル総合入試」新規実施 数、物、化、生、英の5科目各2題から5題選択(英1題、理科2題必答)⇒英+(数or物or化or生)⇒2 | |
| | | | 後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉共通テストの英語の合計点のうち2割程度を配点し、CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して段階的に加点する | |
| 北見工業大 | 工 | | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 コース確定枠、第一次産業振興枠、冬季スポーツ枠を設置 ※すべて仮称 | |
| | | | 地球環境工 | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉76人⇒72人、〈後〉66人⇒62人 |
| | | | 地域未来デザイン工 | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉88人⇒81人、〈後〉77人⇒71人 |
| 北海道大 | 理 | 地球惑星科学 | 総合 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉出願要件としては活用しない 共通テストを導入 ※科目等は未定 論+面⇒面+総合問題 | |
| | | | 医 | 総合 | 選抜方法 | 〈1次試験〉個人評価書+自己推薦書+諸活動の記録⇒コンピテンシー評価 〈2次試験〉面⇒面+コンピテンシー評価 ※コンピテンシー評価は、「学習活動」および「諸活動」について高校等の教員がwebから入力したのものに対して、評価を行うもの ※個人評価書は廃止。自己推薦書、諸活動の記録は参考資料として提出 |
| | 歯 | | 総合 | 選抜方法 | 共通テストを導入 ※科目等は未定 | |
| | | | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | 〈前〉30人⇒38人、〈後〉8人⇒廃止 | |
| | 水産 | 総合 | 出願資格 | 「高等学校等で数IIIを履修している者」追加 | | |
| 選抜方法 | 共通テストを導入 ※科目等は未定 論+面⇒面 | | | | | |
| 北海道教育大 | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉必須とはしないが、CEFRとの対照表による「A2」以上の成績に対して段階的に加点する | | |
| 室蘭工業大 | 理工 | 創造工 | 前期・後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉共通テストの英語に加点する | |
| | | | 前期 | 募集人員 | 133人⇒127人 | |
| | | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜I、II新規実施 (総合型選抜I):70人、(総合型選抜II):12人 | | |
| | | システム理化学 | 前期 | 募集人員 | 96人⇒93人 | |
| 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜I、II新規実施 (総合型選抜I):50人、(総合型選抜II):8人 | | | | |
| 弘前大 | 人文社会科学、理工、医(保健、心理支援科学)、農学生命科学 | | 前期・後期 | 提出書類 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して段階的に加点する *第2志望選抜の廃止 *調査書と志願理由書の提出を必須とし、4段階評価した上で個別の合計点に加点する ※配点は各学部により異なる | |
| | | | 人文社会科学 | 文化創生 | 前期 | 募集人員 |
| | 社会経営 | 前期 | 募集人員 | (国語)60人⇒55人、(数学)40人⇒35人 | | |
| | 教育 | 学校/小学校 | 前期 | 個別 | (国or数or理or外)⇒面+(国or数or理or外) ※物or化or生or地学⇒物or化or生 | |
| | | 学校/中学国語、中学社会、中学家庭 | 前期 | 個別 | 国⇒国+面 | |
| | | 学校/中学数学 | 前期 | 個別 | 数⇒数+面 | |
| | | 学校/中学理科 | 前期 | 個別 | 理⇒理+面 ※物or化or生or地学⇒物or化or生 | |
| | | 学校/技術 | 前期 | 個別 | 理⇒数+面 | |
| | | 学校/中学英語 | 前期 | 個別 | 外⇒外+面 | |
| | | 学校/特別支援 | 前期 | 個別 | (国or数)⇒面+(国or数) | |
| | | 養護教諭 | 前期 | 個別 | 理⇒理+面 ※物or化or生or地学⇒化or生 | |
| | | | | | | |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 | |
|------------|------------|---------------|-------------------|--|---|---------------------|
| 弘前大 | 理工 | 物質創成化学、地球環境防災 | 前期 | 個別 | 数+理 ※物or化or生⇒物or化 | |
| | | 物質創成化学 | 前期 | 募集人員 | 29人⇒26人 | |
| | | | 後期 | 個別 | 理 ※化⇒物or化 | |
| | | 電子情報工、自然エネルギー | 前期 | 個別 | 数+理 ※物or化or生or地学⇒物or化 | |
| | | | 後期 | 個別 | 理 ※物or化or生or地学⇒物or化 | |
| | | 電子情報工 | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉31人⇒29人、〈後〉10人⇒9人 | |
| | | 数物科学 | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉(数学)20人⇒19人、(数理)20人⇒19人、〈後〉(数学)7人⇒6人、(理科)11人⇒10人 | |
| | | 地球環境防災 | 後期 | 募集人員 | 18人⇒15人 | |
| | | | 個別 | 理 ※物or化or生⇒物or化 | | |
| | 機械科学 | 前期 | 募集人員 | 40人⇒36人 | | |
| | 自然エネルギー | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉15人⇒9人、〈後〉5人⇒12人 | | |
| | 医 | 医 | 前期・総合 | 募集人員 | 〈前〉(青森県定着枠)20人⇒15人、〈総〉42人⇒47人 | |
| | | | 前期 | 個別 | 数+外+面⇒面+総合問題 | |
| | | 保健/看護 | 前期 | 募集人員 | 60人⇒50人 | |
| | | | 個別 | 数+外⇒論+(数or外) | | |
| | | 保健/放射線 | 前期 | 募集人員 | 30人⇒24人 | |
| | | | 個別 | 理2+外⇒数+理 | | |
| | | 保健/検査技術 | 前期 | 募集人員 | 30人⇒24人 | |
| | | | 個別 | 理2+外⇒理+外 | | |
| | | 保健/理学療法 | 前期 | 募集人員 | 15人⇒12人 | |
| | | | 個別 | 数+外⇒論+(数or外) | | |
| | | 保健/作業療法 | 前期 | 募集人員 | 15人⇒12人 | |
| | | | 個別 | 数+外⇒論+(数or外) | | |
| | | 農学生命科学 | | 後期 | 個別 | 理⇒論 |
| | | | 生物、分子生命科学 | 前期 | 個別 | 理 ※物or化or生⇒化or生 |
| | | | | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉26人⇒23人、〈後〉7人⇒5人 |
| | 分子生命科学 | | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉22人⇒20人、〈後〉11人⇒8人 | |
| 食料資源、国際園芸農 | 前期 | | 個別 | 理 ※物or化or生or地学⇒化or生 | | |
| | 前期 | | 募集人員 | 33人⇒26人 | | |
| 国際園芸農 | 後期 | | 募集人員 | 12人⇒10人 | | |
| 地域環境工 | 前期 | 募集人員 | 18人⇒15人 | | | |
| 岩手大 | | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉共通テストの英語に加点する | |
| | 教育 | 学校/小学校 | 前期・後期・総合 | 募集人員 | 〈前〉45人⇒40人、〈後〉15人⇒10人、〈総〉新規実施:35人 | |
| | | 学校/特別支援 | 総合 | 募集人員 | 新規実施:3人 | |
| | 農 | 共同獣医 | 前期・後期・総合 | 募集人員 | 〈前〉23人⇒22人、〈後〉4人⇒3人、〈総〉新規実施:5人 | |
| | | 植物生命科学 | 前期・後期・総合 | 募集人員 | 〈前〉30人⇒28人、〈後〉5人⇒4人、〈総〉新規実施:4人 | |
| | | 応用生物化学 | 前期・後期・総合 | 募集人員 | 〈前〉29人⇒27人、〈後〉6人⇒3人、〈総〉新規実施:4人 | |
| | | 森林科学 | 前期・後期・総合 | 募集人員 | 〈前〉20人⇒18人、〈後〉5人⇒4人、〈総〉新規実施:3人 | |
| | | 動物科学 | 前期・総合 | 募集人員 | 〈前〉22人⇒18人、〈総〉新規実施:3人 | |
| | | 食料/農村地域・食産業 | 前期・後期・総合 | 募集人員 | 〈前〉29人⇒26人、〈後〉5人⇒4人、〈総〉新規実施:4人 | |
| | | 食料/水産システム | 前期・総合 | 募集人員 | 〈前〉11人⇒10人、〈総〉新規実施:2人 | |
| 東北大 | | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉英語認定試験は活用しない | |
| | | | | 共通テスト | *記述式問題の活用について 国語の記述式問題は合否判定には用いない。ただし、合否ラインに志願者が同点で並んだ場合は、成績評価が高い者を優先的に合格とする | |
| | 教育 | 前期・総合 | 募集人員 | 〈前〉60人⇒49人、〈AOI〉新規実施:14人、〈AOIII〉10人⇒7人 | | |
| | 医 | 保健/放射線 | 前期・総合 | 募集人員 | 〈前〉29人⇒25人、〈AOI〉新規実施:4人 | |
| 保健/検査技術 | | 前期・総合 | 募集人員 | 〈前〉29人⇒25人、〈AOI〉新規実施:4人 | | |
| 宮城教育大 | 教育 | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする | |
| 秋田大 | | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉共通テストの英語の合計点の2割以内で加点する | |
| | 教育文化 | 学校/教育実践 | 前期 | 個別 | 国or数or外or実⇒(国or数or外or実)→2 | |
| | | | 後期 | 個別 | 論or実⇒面+(論or実) | |
| | | 学校/理数教育 | 前期 | 個別 | 数or理⇒ (国or数or理or外)→2※数or理から1教科以上選択 | |
| | 地域文化 | 後期 | 個別 | 論⇒論+面 | | |
| | 国際資源 | 後期 | 個別 | 面⇒論+面 | | |
| 理工 | 後期 | 個別 | 面⇒数+面 | | | |
| 山形大 | 人文社会科学、理、工 | 前期・後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉共通テストの英語に加点する | | |
| | 人文社会科学 | 後期 | 個別 | 外⇒論 | | |
| | 地域教育文化 | 前期・後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする | | |
| | | 後期 | 個別 | 面⇒論 | | |
| | 工 | 後期 | 個別 | *個別試験新規実施 論 | | |
| | 医 | 医 | 前期・後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする | |
| | | 看護 | 前期・後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表による「A1」以上の成績を出願要件とする | |
| 農 | 前期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉出願要件として活用 | | | |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 |
|-----|------------|-----------------|--|---|--|
| 山形大 | 農 | | 後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする |
| 福島大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語の合計点のうち2割程度を配点し、CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して段階的に加点する |
| | 人文社会、理工 | | 前期・後期 | 選抜方法 | *募集人員の95%程度を共通テストと個別試験の合計点の上位者から合格とし、残りの合格者はさらに調査書の評価得点を加えた合計点で選抜する。調査書の評価得点は共通テストと個別試験の合計点の2~3%程度とする |
| | 人文社会 | 人間発達文化 | 後期 | 選抜方法 | *選抜グループ変更 A系(教育実践、心理幼児、特別支援)、B系(人文科学、数理自然科学)、C系(芸術表現、スポーツ健康科学)⇒ A系(教育実践、心理幼児、特別支援、芸術表現)、B系(人文科学、数理自然科学、スポーツ健康科学) |
| | | 人間発達文化/教育実践 | 前期 | 募集人員 | <前>20人⇒15人 |
| | | 人間発達文化/心理幼児 | 前期 | 個別 | 論⇒論or表現基礎検査 |
| | | 人間発達文化/特別支援 | 前期 | 募集人員 | <前>20人⇒12人 |
| | | 人間発達文化/芸術表現 | 総合 | 選抜方法 | 新規実施:8人 |
| | | 人間発達文化/人文科学 | 前期 | 募集人員 | <前>56人⇒60人 |
| | | 人間発達文化/スポーツ健康科学 | 前期・総合 | 選抜方法 募集人員 | <前>23人⇒20人、<総>新規実施:12人 |
| | | 経済経営 | 前期・総合 | 選抜方法 募集人員 | <前>115人⇒114人、<総>新規実施:11人 |
| | 理工 | 共生システム理工 | 前期 | 個別 | 数+理 ※理:物or化or生or地学⇒物or化or生 |
| | | | 後期 | 募集人員 | 45人⇒42人 |
| | 農 | 食農 | 前期 | 選抜方法 | *募集人員の95%程度を共通テストと個別試験の合計点の上位者から合格とし、残りの合格者はさらに調査書の評価得点を加えた合計点で選抜する。調査書の評価得点は共通テストと個別試験の合計点の2~3%程度とする |
| 茨城大 | | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語の合計点のうち2割程度を配点する |
| | 面接等を課さない学部 | | | 提出書類 | *チェックシート(高校時代に最も熱心に学びに向き合ったものについて)を提出 調査書と合わせて50点満点で段階評価する |
| 筑波大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須としないが、共通テストの英語の成績を200点満点に換算し、CEFRとの対照表による「B2」以上の成績で20点を上限に段階的に加点する。加点の結果、200点を超える場合は200点として扱う |
| | | | 前期 | 選抜方法 | *「総合選抜」新規実施 (文系):募集人員128人 <共通テスト>国+歴公+数2+外+(理or理基2) <個別>国+外+調+(歴公or数) (理系I):募集人員154人 <共通テスト>国+歴公+数2+理2+外 <個別>数+理2+外+調 ※理:物+(化or生or地学) (理系II):募集人員41人 <共通テスト>国+歴公+数2+理2+外 <個別>数+理2+外+調 (理系III):募集人員90人 <共通テスト>国+歴公+数2+理2+外 <個別>数+理2+外+調 ※2年次から志望する学類・専門学群(体育専門学群は除く)に所属 (理系II)と(理系III)は個別の配点比重が異なる 調査書についてはいずれも点数化し、主体性を評価 |
| | | | | 名称変更 | *学類・専門学群ごとに実施している現在の入学選抜を「学類・専門学群選抜」に名称変更 |
| | 人文・文化 | 人文 | 前期・後期・推薦 | 募集人員 | <前>70人⇒45人、<後>17人⇒20人、<推>28人⇒20人 |
| | | | 前期 | 個別 | 国+歴公+外⇒国+歴公+外+調 |
| | | | 後期 | 個別 | 論2⇒論 |
| | | 比較文化 | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>50人⇒35人、<後>5人⇒廃止 |
| | | | 前期 | 選抜方法 | *2段階選抜新規実施:約5倍 |
| | | | | 個別 | 国+歴公+外⇒国+歴公+外+調 |
| | 日本語・日本文化 | 前期・推薦 | 選抜方法 募集人員 | <前>27人⇒廃止、<推>10人⇒14人 | |
| | | 社会・国際 | 社会 | 前期 | 募集人員 |
| | 個別 | | | 外+(国or歴or数)⇒外+調+(国or歴or数) ※歴:世Bor日B⇒世Bor日Bor地B ※数:数II+数B⇒数I+数II+数A+数B | |
| | | 国際総合 | 前期 | 募集人員 | 60人⇒36人 |
| | | 個別 | 外+(歴or数)⇒外+調+(歴or数) ※数:(数II+数B)or数III⇒(数I+数II+数A+数B)or(数I+数II+数III+数A+数B) | | |
| | 人間 | 教育 | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>28人⇒22人、<後>新規実施:3人 |
| | | | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数+外+(理or理基2)⇒国+歴公+数2+外+(理or理基2) ※歴:世Aor世Bor日Aor日Bor地理Aor地理B⇒世Bor日Bor地理B |
| | | | 個別 | 外+(国or歴or数or理)⇒外+面+(国or歴or数or理) ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B | |
| | | 心理 | 前期・後期・推薦 | 選抜方法 募集人員 | <前>38人⇒26人、<後>新規実施:4人、<推>12人⇒15人 |
| | | | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+外+(理or理基2) ※歴:世Aor世Bor日Aor日Bor地理Aor地理B⇒世Bor日Bor地理B |
| | | | 個別 | 外+(国or歴or数or理)⇒外+面+(国or歴or数or理) ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B | |
| | | 障害科学 | 前期・後期・推薦 | 選抜方法 募集人員 | <前>20人⇒17人、<後>新規実施:3人、<推>15人⇒12人 |
| | | | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数+外+(理or理基2)⇒国+歴公+数2+外+(理or理基2) ※歴:世Aor世Bor日Aor日Bor地理Aor地理B⇒世Bor日Bor地理B |
| | | 個別 | 外+(国or歴or数or理)⇒外+面+(国or歴or数or理) ※数:(数II+数B)or数III⇒(数I+数II+数A+数B)or(数I+数II+数III+数A+数B) | | |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 |
|-------|----------|--------------------------|--|---|--|
| 筑波大 | 情報 | 情報科学 | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>50人⇒42人、<後>12人⇒廃止 |
| | | | 前期 | 選抜方法 | *2段階選抜新規実施:約5倍 |
| | | | | 個別 | 数+理2+外⇒数+理2+外+調 ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B |
| | | 情報メディア創成 | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>30人⇒20人、<後>8人⇒廃止 |
| | | | 前期 | 選抜方法 | *2段階選抜新規実施:約5倍 |
| | | | | 共通テスト | 国+数2+外+(歴or理)→3⇒国+歴公+数2+理2+外 |
| | | 知識情報・図書館 | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>40人⇒廃止、<後>15人⇒10人 |
| | | | | 募集人員 | |
| | | 理工 | 数学 | 前期・推薦・AO | 選抜方法 募集人員 |
| | 前期 | | | 個別 | 数+理2+外⇒数+理2+外+調 ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B ※理:物or化or生or地学⇒物+(化or生or地学) |
| | | | | 募集人員 | |
| | 物理 | | 前期・後期 | 募集人員 | <前>45人⇒20人、<後>新規実施:10人 |
| | | | 前期 | 選抜方法 | *第1段階選抜基準変更:約5倍(通過予定人数:215人)⇒約10倍(通過予定人数:200人) |
| | | | | 個別 | 数+理2+外⇒数+理2+外+調 ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B ※理:物or化or生or地学⇒物+(化or生or地学) |
| | 化学 | | 前期・後期・AO | 選抜方法 募集人員 | <前>35人⇒14人、<後>新規実施:10人、<AO>2人⇒廃止 |
| | | | 前期 | 個別 | 数+理2+外⇒数+理2+外+調 ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B ※理:物or化or生or地学⇒化+(物or生or地学) |
| | | | | 募集人員 | 82人⇒49人 |
| | 応用理工 | | 前期 | 募集人員 | 82人⇒49人 |
| | | | | 個別 | 数+理2+外⇒数+理2+外+調 ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B |
| | | | 工学システム | 前期・AO | 選抜方法 募集人員 |
| | 社会工 | | 前期・推薦 | 募集人員 | <前>83人⇒60人、<推>22人⇒15人 |
| | | | | 個別 | 数+外⇒数+外+調 ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B |
| | | | 前期 | 募集人員 | |
| | 医 | 医 | 前期 | 募集人員 | 49人⇒44人 |
| | | 看護 | 前期 | 募集人員 | 45人⇒40人 |
| | | | 個別 | 外+面+(国or理)⇒外+面+調+(国or理) | |
| | 医療科学 | 前期 | 募集人員 | 25人⇒15人 | |
| | 体育 | 前期 | 個別 | 実+論⇒実+論+調 | |
| | 生命環境 | 生物 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>32人⇒14人、<後>20人⇒18人 |
| | | | 前期 | 選抜方法 | *2段階選抜新規実施:約5倍 |
| | | | | 個別 | 数+理2+外⇒数+理2+外+調 ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B |
| | | | 後期 | 選抜方法 | *2段階選抜新規実施:約8倍 ※基準点を設ける |
| | | | 生物資源 | 前期・後期・推薦・AO | 選抜方法 募集人員 |
| 前期 | | | | 共通テスト | 国+歴公+数2+外+(理or理基2)⇒国+歴公+数2+理+外 ※歴:世Bor日Bor地B⇒世Aor世Bor日Aor日Bor地Aor地B |
| | | 個別 | | 外+(歴or数or理2)⇒数+外+調+(歴or理)→2 ※歴:世Bor日Bor地B⇒地B ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B | |
| 後期 | | 共通テスト | 国+数2+外+(歴or理or理基2)→3 ※歴:世Bor日Bor地B⇒世Aor世Bor日Aor日Bor地Aor地B | | |
| 地球 | | 前期・後期・推薦・AO | 選抜方法 募集人員 | <前>33人⇒21人、<後>5人⇒4人、<推>10人⇒12人、<AO>2人⇒廃止 | |
| | | 前期 | 個別 | 数+外+(歴or理)→2⇒数+外+調+(歴or理)→2 ※数:数II+数III+数B⇒数I+数II+数III+数A+数B | |
| | | | 後期 | 選抜方法 | *2段階選抜新規実施:約8倍 |
| 芸術 | | 前期・後期・推薦・AO | 選抜方法 募集人員 | <前>45人⇒50人、<後>15人⇒5人、<推>35人⇒40人、<AO>5人⇒廃止 | |
| | | | 前期 | 選抜方法 | *2段階選抜新規実施:約6倍 |
| | | 後期 | 個別 | 実⇒面 | |
| 筑波技術大 | | 産業技術 | 前期 | 選抜方法 | <英語認定試験>英語認定試験は活用しない |
| 宇都宮大 | 地域デザイン科学 | コミュニケーションデザイン | 前期 | 個別 | 外+(国or数)⇒論 |
| | | 建築都市デザイン | 後期 | 個別 | *個別試験新規実施 面 |
| | | 社会基盤デザイン | 後期 | 個別 | *個別試験新規実施 論 |
| | 工 | 基盤工 | 後期 | 個別 | *個別試験新規実施 論 |
| | 農 | 農業環境工、農業経済、生物資源科学、応用生命科学 | 後期 | 個別 | *個別試験新規実施 面 |
| 群馬大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、CEFRとの対照表による「A1」以上の成績に対して段階的に加点する。加点の結果、満点を超える場合は満点として扱う | |
| | | | 個別 | 論理的思考力・判断力・表現力を評価する高度な記述式試験を課す | |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 |
|-----------|-----------|-------------|---|--|---|
| 千葉大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする |
| | 文 | 人文/行動科学 | 前期・後期 | 共通テスト | *外の英でリスニング実施 |
| | 国際教養 | 国際教養 | 前期・総合 | 募集人員 | <前>(通常型)75人⇒83人、(特色型)10人⇒廃止、<総>5人⇒7人 |
| | | | 前期 | 個別 | 外+(国or理)+(歴公or数) ※理:物or化or生or地学⇒物or化or生 |
| | 理 | 地球科学 | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 募集人員:4人 |
| | 工 | 総合工 | 前期 | 募集人員 | 466人⇒456人 |
| | | 総合工/情報工 | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 募集人員:10人 |
| | 薬 | | 前期 | 個別 | 数+理+外⇒数+理2+外 ※理:化⇒化+(物or生) |
| 園芸 | 園芸、応用生命化学 | 前期 | 個別 | 数+理+外 ※理:物or化or生or地学⇒物or化or生 | |
| | | 後期・総合 | 募集人員 | <後>12人⇒9人、<総>2人⇒5人 | |
| | 園芸 | 後期 | 個別 | 総合問題⇒理2 | |
| お茶の水女子大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は理由の申し出が必要 | |
| 電気通信大 | 情報理工 | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする | |
| | | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 | |
| 東京大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績、または「A2」以上に相当する英語力があると認められることが明記された証明書を出願要件とする。どちらも提出できない場合は、理由書を提出 | |
| 東京医科歯科大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は証明書を提出 | |
| 東京外国語大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>英語認定試験を出願要件として利用し、CEFRとの対照表において「A2」以上とする <個別>「英語」において、筆記試験に加えスピーキングテスト(BCT-S)を実施する | |
| | 国際社会 | 後期 | 個別 | 外⇒論(英語の課題文を読み、日本語で解答) | |
| 東京海洋大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>出願要件として活用 | |
| 東京学芸大 | 教育 | 初等/国語、中等/国語 | 前期 | 個別 | 国⇒国+論 |
| | | 初等/社会、中等/社会 | 前期 | 個別 | 歴公⇒歴公(小論文を含む) |
| | | 初等/数学、中等/数学 | 前期 | 個別 | 数⇒数+論 |
| | | 初等/理科、中等/理科 | 前期 | 個別 | 理⇒理+論 |
| | | 初等/音楽、中等/音楽 | 前期 | 個別 | 共通試験+実⇒共通試験+面+実 |
| | | 初等/音楽 | 後期 | 個別 | 実⇒面+実 |
| | | 初等/美術 | 前期 | 個別 | 実⇒面+実 |
| | | | 後期 | 選抜方法 | 新規実施 |
| | | 初等/英語 | 前期 | 個別 | 外⇒外+面 |
| | | 初等/情報教育 | 前期 | 個別 | 数⇒数+面 |
| | | 初等/環境教育 | 前期 | 個別 | 歴公or理⇒論+(歴公or理) |
| | | 初等/ものづくり | 前期 | 個別 | 数⇒面 |
| | | 中等/音楽 | 後期 | 個別 | 共通試験+実⇒共通試験+面+実 |
| | | 中等/保健体育 | 前期 | 個別 | 実⇒面+実 |
| | | 中等/技術 | 前期 | 個別 | 数⇒面 |
| | | 中等/英語 | 前期 | 個別 | 外⇒外+面 |
| | | 中等/書道 | 前期 | 個別 | 国+書道実技・書道理論⇒国+面+書道実技・書道理論 |
| | | 特別支援 | 前期 | 個別 | 論⇒論+面 |
| | | | 後期 | 個別 | 面⇒論+面 |
| | | 養護教育 | 後期 | 選抜方法 | 4人⇒廃止 |
| 教育/情報教育 | 前期 | 個別 | 数⇒数+面 | | |
| 教育/生涯スポーツ | 前期 | 個別 | 実⇒面+実 | | |
| 東京芸術大 | 音楽 | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、現行のみなし満点制度は継続して実施 | |
| 東京工業大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とし、CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して個別試験の英語に30点満点で段階的に加算する | |
| | | 前期 | 選抜方法 | *2段階選抜実施 4倍 | |
| 生命理工 | 生命理工 | 前期・後期 | 選抜方法 | <前>105人⇒135人、<後>35人⇒廃止 | |
| 東京農工大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は理由書を提出 | |
| 一橋大 | | | 出願方法 | *インターネット出願導入 | |
| | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績、または「A2」以上に相当する英語力があると認められることが明記された証明書を出願要件とする。どちらも提出できない場合は、理由書を提出 *調査書の活用について 合否ラインに志願者が同点で並んだ場合は、調査書を点数化し総合点の高い者を優先的に合格とする | |
| 横浜国立大 | | | 前期・後期 | 提出書類 | *自己推薦書追加 教育学部では面において自己推薦書を用いることがある |
| | 経済 | 経済 | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績を出願要件とする |
| | | | 前期 | 共通テスト | 国+歴公2+数2+外+(理2or理基2)⇒国+歴公2+数2+外+(理or理基2) ※歴:世Aor世Bor日Aor日Bor地理Aor地理B⇒世Bor日Bor地理B |
| | | | 後期・総合 | 募集人員 | <後>90人⇒75人、<総>15人⇒30人 |
| | | | 後期 | 選抜方法 | *第1段階選抜基準変更:約12倍(通過予定人数:1080人)⇒約15倍(通過予定人数:1125人) |
| | | 共通テスト | 国+歴公+数2+外+(理2or理基2)⇒国+歴公+数2+外+(理or理基2) ※歴:世Aor世Bor日Aor日Bor地理Aor地理B⇒世Bor日Bor地理B | | |
| 経営 | 経営 | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする | |
| | | 前期 | 選抜方法 | *2段階選抜新規実施:約6倍 | |
| | | | 個別 | *個別試験新規実施 数or外 | |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 |
|---------|---------------------------|----------------------|-----------------|--|---|
| 横浜国立大 | 経営 | 経営 | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉128人⇒148人、〈後〉98人⇒78人 |
| | 教育 | | 前期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とし、段階に応じて共通テストの英語に2段階で加点する |
| | | 学校/人間・教科 | 前期 | 募集人員 | 118人⇒119人 |
| | | 特別支援 | 前期 | 募集人員 | 16人⇒15人 |
| | 都市科学 | 都市社会共生 | 前期・後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とし、「A2」以上の成績に対して段階的に加点する |
| | | | 前期 | 個別 | 外+論⇒論 |
| | | | 後期・総合 | 募集人員 | 〈後〉20人⇒12人、〈総〉10人⇒18人 |
| | | | 後期 | 個別 | 外+論⇒面 |
| | | 建築 都市基盤、環境リ スク | 前期・後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする |
| | 建築 | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉41人⇒40人、〈後〉20人⇒19人 | |
| 理工 | | 前期・後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする | |
| | 化学/化学 | 前期・後期・推薦 | 募集人員 | 〈前〉75人⇒71人、〈後〉60人⇒56人、〈推〉22人⇒30人 | |
| 上越教育大 | | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表による「A1」以上の成績を出願要件とする |
| 長岡技術科学大 | 工 | | 前期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して共通テストの英語に段階的に加点し、加点後の240点満点を200点満点へ換算する |
| | | | | 個別 | 数+理⇒国+数+理 |
| 新潟大 | | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して段階的に加点する |
| | 人文 | 人文 | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉145人⇒140人、〈後〉50人⇒40人 |
| | 法 | 法 | 前期・後期 | 募集人員 | 〈前〉90人⇒85人、〈後〉40人⇒35人 |
| | 経済社会科学 | 経済社会科学 | | 改組 | *学部改組 経済(経済、経営)⇒経済社会科学(経済社会科学) |
| | 教育 | | 前期・後期・推薦 | 選抜方法 募集人員 | 〈前〉144人⇒120人、〈後〉36人⇒廃止、〈推〉40人⇒60人 |
| | | | 前期 | 個別 | *全学科・課程の個別試験に面追加 |
| | 創生 | | 後期 | 選抜方法 | 10人⇒廃止 |
| | | | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 募集人員:(理系)10人、(文系)10人 |
| | 理 | 理 | 前期・後期・総合 | 選抜方法 募集人員 | 〈前〉133人⇒130人、〈後〉32人⇒30人、〈総〉新規実施:5人 |
| | | | 前期 | 選抜方法 | *選抜方式変更 (選抜方法A)、(選抜方法B)、(選抜方法C)⇒(理数重点)、(理科重点)、(野外科学志向) |
| | 工 | 工 | 前期・後期・ 推薦・総合 | 選抜方法 募集人員 | 〈前〉349人⇒310人、〈後〉71人⇒60人、〈推〉110人⇒133人、〈総〉新規実施:27人 |
| | 医 | 保健 | 後期 | 個別 | 論+面⇒面 |
| | | | 前期・後期・推薦 | 募集人員 | 〈前〉49人⇒46人、〈後〉8人⇒6人、〈推〉20人⇒28人 |
| | | 保健/看護 | 前期・後期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+外+[理2or(理+理基2)] ※理:生が必須から選択へ、理基の選択に生基追加 |
| | | | 前期 | 個別 | 国+外⇒外 |
| 保健/検査技術 | 前期 | 募集人員 | 19人⇒21人 | | |
| 歯 | 歯 | 前期・推薦 | 募集人員 | 〈前〉22人⇒24人、〈推〉10人⇒8人 | |
| 富山大 | 人文、理、工 | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉必須とはしないが、CEFRとの対照表に基づき、「B2」以上を得点換算し、共通テストの英の得点と比較して高い方を利用する |
| | 経済、人間発達科学、都市デザイン、医、薬、芸術文化 | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉共通テストの英語に加点する |
| | 経済 | 経営 | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 募集人員:3人 |
| | | 経営法 | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 募集人員:3人 |
| | | 経済 | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 募集人員:4人 |
| | 理 | 生物 | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 募集人員:4人 |
| | | 物理 | 前期・後期・総合 | 選抜方法 | 〈前〉(a)10人⇒12人、(b)12人⇒8人、〈後〉10人⇒14人、〈総〉新規実施:5人 |
| | 工 | 工/知能情報工、応用化学 | 後期 | 個別 | *調査書を点数化して判定に活用 |
| | | | 前期 | 個別 | 数+理 ※理:物or化or生⇒物or化 |
| | 都市デザイン | 都市交通デザイン | 後期 | 個別 | *調査書を点数化して判定に活用 |
| 医 | 医 | 前期・後期 | 個別 | *調査書を点数化して判定に活用 | |
| 薬 | | 後期 | 個別 | *調査書を点数化して判定に活用 | |
| 金沢大 | 人間社会 | 人文、法、国際 | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は理由書等を提出 |
| | | 経済、学校教育、地域創造 | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は理由書等を提出 |
| | 理工 | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は理由書等を提出 |
| | 医 | 医 | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は理由書等を提出 |
| | | 薬・創薬科学、保健 | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は理由書等を提出 |
| | 文系一括、理系一括 | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は理由書等を提出 |
| 福井大 | 教育 | 学校/初等教育(美術) | 前期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表による「A1」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は理由書を提出 |
| | | 学校/初等教育(音楽)、中等教育(音楽) | 前期 | 個別 | 面+実⇒論+面+実 |
| | | 学校/初等教育(体育)、中等教育(体育) | 前期 | 個別 | 実⇒論+実 |
| | | | | | |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 | |
|---------|---------|--------------------------------|-----------|--|---|---|
| 福井大 | 教育 | 学校/中等教育(美術) | 前期 | 選抜方法 | 1人⇒廃止 | |
| | | 学校/中等教育 | 後期 | 募集人員 | 7人⇒6人 | |
| | 国際地域 | 国際地域 | | 提出書類 | *「本人の記載する資料」として「志願理由書」の提出 | |
| | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「C1」以上の成績の場合、共通テストの外をみなし満点とする | |
| | | | 前期・後期 | 募集人員 | <前>32人⇒30人、<後>13人⇒12人 | |
| | 工 | 機械・システム工 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>78人⇒75人、<後>70人⇒65人 | |
| | | 建築・都市環境工 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>32人⇒30人、<後>20人⇒17人 | |
| 物質・生命化学 | | 前期・後期 | 募集人員 | <前>95人⇒75人、<後>30人⇒40人 | | |
| | | 後期 | 個別 | 面⇒数 | | |
| 山梨大 | 教育 | | 前期・後期 | 提出書類 | *「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出 (芸術身体は「活動実績報告書」の提出) | |
| | | 学校/幼小発達 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>15人⇒12人、<後>5人⇒4人 | |
| | | | 前期 | 個別 | (国or数or外)⇒2⇒外+面(集団) | |
| | | | 後期 | 共通テスト | 国+歴公2+数2+外+(理or理基2)⇒(国or歴公or数or外or(理or理基2))⇒3 | |
| | | 学校/障害児、芸術身体 | 後期 | 共通テスト | 国+歴公2+数2+外+(理or理基2)⇒ 3教科型:[国or数2or外or(理or理基2)]⇒3 4教科型:歴公+(国or数2or外or(理or理基2))⇒3 | |
| | | 学校/障害児 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>12人⇒10人、<後>5人⇒4人 | |
| | | 学校/言語教育 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>10人⇒7人、<後>3人⇒2人 | |
| | | | 前期 | 個別 | 国+外⇒国+外+面(集団) | |
| | | | 後期 | 共通テスト | 国+歴公2+数2+外+(理or理基2)⇒国+歴公+外 | |
| | | 学校/生活社会 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>15人⇒11人、<後>5人⇒3人 | |
| | | 前期 | 個別 | (国or数or理or外)⇒2⇒外+面(集団) | | |
| | | 後期 | 共通テスト | 国+数2+外+(歴公or理or理基2)⇒3⇒ a/パターン:国+数2+外 b/パターン:(国or数2or外)⇒2+(歴公or理or理基2)⇒2 c/パターン:歴公2+(国or数2or外)+(理2or(理+理基2)) | | |
| | 学校/科学教育 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>18人⇒14人、<後>6人⇒4人 | | |
| | | 前期 | 個別 | 数+理⇒数+理+面(集団) | | |
| | 学校/芸術身体 | 前期 | 募集人員 | 8人⇒6人 | | |
| | | 個別 | 実⇒面(集団)+実 | | | |
| | 生命環境 | | 前期・後期 | 提出書類 | *「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出 | |
| | | 生命工、地域食物科学 | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+理2+外 ※理:物or化or生or地学⇒物or化or生 | |
| | | | 前期 | 個別 | 数+理⇒論 | |
| | | 生命工 | 前期 | 募集人員 | 30人⇒27人 | |
| | | 地域食物科学 | 前期 | 募集人員 | 32人⇒30人 | |
| | | 環境科学 | 前期 | 募集人員 | 25人⇒22人 | |
| | | | 個別 | 数+理2⇒論 | | |
| | | 地域社会システム | 前期 | 募集人員 | 43人⇒40人 | |
| | | | 個別 | 外+(国or数)⇒論 | | |
| | | 医 | 看護 | 後期 | 提出書類 | *「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出 |
| | 工 | | 後期 | 提出書類 | *「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出 | |
| | | 土木環境工 | 後期 | 募集人員 | 7人⇒5人 | |
| | | 応用化学 | 後期 | 募集人員 | 7人⇒5人 | |
| | | 機械工 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>37人⇒33人、<後>8人⇒5人 | |
| | | 電気電子工 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>35人⇒33人、<後>7人⇒5人 | |
| | | コンピュータ理工 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>35人⇒30人、<後>8人⇒5人 | |
| | | 情報メカトロニクス工 | 前期 | 募集人員 | 35人⇒33人 | |
| 先端材料理工 | | 前期・後期 | 募集人員 | <前>25人⇒19人、<後>6人⇒5人 | | |
| 信州大 | | 人文、理、工、織維、農 | | 前期・後期 | 選抜方法 | *調査書の扱い 主体的、能動的な学びが集約された資料として総合的に判断し、試験得点に加算する |
| | | 経法、医(保健) | | 前期 | 選抜方法 | *調査書の扱い 主体的、能動的な学びが集約された資料として総合的に判断し、試験得点に加算する |
| | 経法 | 応用経済 | 後期 | 選抜方法 | 15人⇒廃止 | |
| | 教育 | 学校/現代教育、国語、ものづくり、家庭科、特別支援、心理支援 | 前期 | 共通テスト | *歴公と理の選択にA型、B型選択を追加 国+歴公+数2+外+(理2or理基2)⇒国+数2+外+(歴公or理or理基2)⇒3 | |
| | | 学校/現代教育 | 前期 | 個別 | 国or数or外⇒面+(国or数or外) | |
| | | 学校/国語 | 前期 | 個別 | 国⇒国+面 | |
| | | 学校/国語、英語 | 後期 | 共通テスト | 国+歴公+外⇒国+歴公2+数2+外+(理or理基2) | |
| | | 学校/英語、社会 | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+外+(理2or理基2)⇒国+歴公2+数2+外+(理or理基2) | |
| | | 学校/社会 | 前期 | 個別 | 歴公2+(国or数or外)⇒歴公2+面+(国or外) | |
| | | | 後期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+外+(理2or理基2)⇒国+歴公2+数2+外+(理or理基2) | |
| | | 学校/数学、理科 | 前期・後期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+外+(理2or理基2)⇒国+歴公+数2+外+(理2or(理+理基2)) | |
| | | 学校/理科、ものづくり | 前期 | 個別 | 数or(数or理)⇒2⇒面+[数or(数or理)⇒2] ※1教科の数は数IIIを含む | |
| | | 学校/数学 | 前期 | 個別 | 数⇒数+面 | |
| | | 学校/音楽、保健体育、野外教育 | 前期 | 個別 | 実⇒面+実 | |
| | | 学校/家庭科、特別支援 | 前期 | 個別 | 国or数or外⇒面+(国or数or外) | |
| | | 学校/特別支援 | 後期 | 共通テスト | *歴公と理の選択にA型、B型選択を追加 国+歴公+数2+外+(理2or理基2)⇒国+数2+外+(歴公or理or理基2)⇒3 | |
| | | 理 | 理/循環物質 | 前期 | 個別 | 論⇒総合問題 |
| | 工 | 物質化学 | 後期 | 個別 | 面⇒理 | |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 |
|---------|--------|----------------------|-------------|--|--|
| 信州大 | 繊維 | 化学・材料 | 前期 | 個別 | 理(物or化)⇒理(物or化or生) |
| | | 医 | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+理2+外 ※理:物or化or生or地学⇒物or化or生 |
| | 農 | 保健/作業療法 | 前期・後期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+理2+外⇒国+歴公+数+外+(理or理基2) |
| | | | 前期・後期 | 共通テスト | 国+数2+理2+外⇒国+歴公+数2+理2+外 |
| | | 農学生命科学 | 前期 | 個別 | 理(化or生)⇒理(物or化or生)→2 |
| | | 後期 | 個別 | 面⇒理 | |
| 岐阜大 | 医(医)除く | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に加点する |
| | 医 | 医 | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFR対照表における「A2」以上を出願要件とする |
| 静岡大 | 人文社会科学 | 社会、言語文化 | 前期 | 個別 | 国+外⇒国+外+論 |
| | | | 後期 | 共通テスト | 国+外+(歴公or数or理or理基2)⇒国+歴公2+数2+外+(理or理基2) |
| | | 法 | 前期 | 個別 | *国の問題に小論文形式の出題を含む |
| | | | 後期 | 共通テスト | 外+(国or歴公or数or(理or理基2))→2⇒国+歴公2+数2+外+(理or理基2) |
| | 経済 | 後期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+外+(理or理基2)⇒国+歴公2+数2+外+(理or理基2) | |
| | | 教育 | 学校/数学、美術を除く | 後期 | 個別 |
| | | 学校/音楽、美術、保健 体育を除く | 前期 | 個別 | (国or数or外)→2⇒論+(国or数or外)→2 |
| | | 学校/音楽、美術、保健 体育 | 前期 | 個別 | 実⇒論+実 |
| | | 学校/美術 | 後期 | 共通テスト | 国+外+(歴公or数or理or理基2)⇒国+数2+外+(歴公or理or理基2)→3 |
| | | | | 個別 | 実⇒面(小論文を含む) |
| | 理 | 化学 | 後期 | 個別 | 理⇒理+論 |
| | | | 前期 | 選抜方法 | *前期日程新規実施 |
| | | 創造理学 | 後期 | 共通テスト | 数2+理2+外⇒国+歴公+数2+理2+外 |
| 農 | 応用生命科学 | 後期 | 個別 | 理⇒理+面 | |
| 浜松医科大 | 医 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績、または「A2」以上に相当する英語力があると認められることが明記された証明書を出願要件とする。どちらも提出できない場合は、理由書を提出 |
| 愛知教育大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に加点する |
| 豊橋技術科学大 | 工 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に加点する |
| 名古屋大 | | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績、または「A2」以上に相当する英語力があると認められることが明記された証明書を出願要件とする。どちらも提出できない場合は、理由書を提出 |
| | 医 | 医 | 後期 | 個別 | *2段階選抜廃止 |
| | 医 | 保健 | 前期 | 個別 | 数+理2+外⇒国+数+理2+外 |
| 名古屋工業大 | | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に加点する |
| 三重大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「C1」以上の成績に対して共通テストの英語に配点の10%を加点する |
| 滋賀大 | 経済 | | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 |
| | | 会計情報 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>18人⇒21人、<後>24人⇒18人 |
| | | 経済 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>60人⇒70人、<後>80人⇒60人 |
| | | 社会システム | 前期・後期 | 募集人員 | <前>24人⇒27人、<後>32人⇒24人 |
| | | ファイナンス | 前期・後期 | 募集人員 | <前>20人⇒23人、<後>27人⇒20人 |
| | | 企業経営 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>28人⇒31人、<後>37人⇒28人 |
| | | 滋賀医科大 | 医 | | |
| 京都大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績、または高等学校等の校長が「A2」以上の英語の言語運用能力が備わっていると認める書類の提出を出願要件とする |
| 京都工芸繊維大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>英語認定試験は活用しない |
| | | | | 共通テスト | *記述式問題の活用について 国語の記述式問題は合否判定には用いない。ただし、共通テストと個別試験の合計点で同点となった場合は活用する |
| 大阪大 | デザイン科学 | デザイン・建築 | 前期 | 個別 | 数+外+(実or総合問題)⇒数+外+総合問題 ※総合問題の中で創造力、構成員、描画力及びそれらの総合力を評価する |
| | 人間科学 | 人間科学 | 前期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績を出願要件とする |
| | 医 | 医 | 前期 | 個別 | *2段階選抜新規実施:約2.4倍 |
| | 薬 | 薬 | 前期 | 選抜方法 | 面(1回のみ)⇒面(複数の面接官による評価を参考にし、場合によっては複数回行う) *第1段階選抜基準変更:約4倍(通過予定人数:260人)⇒約2.5倍(通過予定人数:163人) |
| 神戸大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績を出願要件とする |
| | | | | 総合 | 提出書類 |
| | 国際人間科学 | グローバル文化 | 推薦 | 出願資格 | TOEFL iBT 65点以上⇒TOEFL iBT 65点以上またはIELTS 6.0以上 |
| | | 環境共生 | 総合 | 選抜方法 | <研究実績受験>2人⇒廃止、<「志」特別入試>5人⇒7人 |
| | | | 募集人員 | | |
| | 理 | 生物、惑星 | 総合 | 提出書類 | *「学業等評価書」を廃止 |
| | 工 | 応用化学 | 前期・後期・総合 | 募集人員 | <前>78人⇒85人、<後>26人⇒18人、<「志」特別入試>2人⇒3人 |
| | | 情報知能工 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>85人⇒90人、<後>20人⇒15人 |
| 鳥取大 | 地域 | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に満点の5%程度を上限として加点する |
| | | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に満点の2割程度を配点として加点する |
| | 工 | | | | |
| 兵庫教育大 | 学校教育 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「B1」以上の成績に対して段階的に加点する |
| 奈良女子大 | | | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜「Q」新規実施 定員:33人 |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 |
|------|-----------------------|---|----------|---|--|
| 鳥取大 | 医 | 医 | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFR対照表における「A2」以上を出願要件とし、共通テストの英語に満点の2割程度を配点として加点する |
| | | 生命科学 | | | <英語認定試験>共通テストの英語に満点の2割程度を配点として加点する |
| | | 保健 | | | <英語認定試験>共通テストの英語に満点の1割程度を配点として加点する |
| | 農 | 共同獣医 | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFR対照表における「A2」以上を出願要件とする |
| | | 生命環境農 | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に満点の1割程度を上限として加点する |
| | | | 後期 | 個別 | 課さない⇒面 |
| 島根大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>医(医)以外:共通テストの英語に加点する 医(医):CEFR対照表における「A2」以上を出願要件とする |
| | 法文、教育(Ⅰ類)、総合理工、生物資源科学 | | | 選抜方法 | *総合型選抜「へるん入試」新規実施 共通テストは課さない |
| | 医(医)除く | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に加点する |
| | 教育 | 学校Ⅰ類 | 前期 | 個別 | (国or数or外)→2⇒論+調査書 |
| | | | 後期 | 個別 | 面⇒面+調査書 |
| | | 学校/音楽、美術、健康・スポーツ | 前期 | 個別 | 実⇒実+調査書 |
| | 総合理工 | 数理科学 | 後期 | 個別 | 数⇒数+論 |
| | | 建築デザイン | 後期 | 個別 | 課さない⇒面 |
| 医 | 医 | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFR対照表における「A2」以上を出願要件とする | |
| 岡山大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>可否の判定には利用しないが、英語認定試験の結果の提出を求める。ただし、やむを得ない理由で提出できない者には、理由書の提出を求める |
| | 前期の個別試験で理科を課す学部 | 前期 | 個別 | *理の選択から地学除外 | |
| | 薬 | | 前期 | 個別 | 数+理2+外⇒数+理2+外+面 ※理:物or化or生⇒化+(物or生) |
| | | 後期 | 個別 | 論⇒論+面 | |
| 広島大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>出願要件とするが、CEFRとの対照表においてスコア算出外の場合でも出願可。CEFRとの対照表に基づき「B2」以上の成績に対して共通テストの英語を満点とみなす |
| | | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFR対照表における「B2」以上の場合、共通テストの英語の得点を満点とみなす。提出できない者は個別に対応する |
| 山口大 | 人文 | | 前期・後期 | 共通テスト | 国+歴公+数+外 ※数:数①or数②⇒数① |
| | 教育 | 学校/小学総合、小学教育、小学心理、小学国際、国語、社会、音楽、美術、保健体育、技術、家政、幼児、特別支援 | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数+外+(理or理基2) ※数:数①or数②⇒数① |
| | | | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+理+外⇒国+歴公+数2+外+(理or理基2) |
| | | | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数+外+(理or理基2) ※数:数①or数②⇒数① |
| | | | 前期 | 共通テスト | 数2+理+外⇒国+数2+外+(理or理基2) |
| | 理 | 数理科学、物理・情報科学、生物・化学 | 後期 | 共通テスト | 数2+(国or歴公or理2or外)⇒国+歴公+数2+理2+外 |
| | | | 前期 | 共通テスト | (理or理基2)+(国or歴公or数or外)→2⇒国+数2+外+(歴公or理or理基2) |
| | | | 後期 | 共通テスト | 数2+外+(理or理基2)+(国or歴公)→1or0⇒国+数2+外+(歴公or理or理基2) |
| | 工 | 応用化学、社会建設工、知能情報工、循環環境工 | 前期・後期 | 共通テスト | 数2+理+外⇒国+歴公+数2+理2+外 |
| | | | 前期・後期 | 共通テスト | 数2+理+外⇒国+歴公+数2+理2+外 ※理:物or化or生or地学⇒物+(化or生or地学) |
| | | | 前期 | 募集人員 | 55人⇒54人 |
| | | | 後期 | 募集人員 | 13人⇒14人 |
| | 医 | 医 | 前期・後期・推薦 | 募集人員 | <前>60人⇒55人、<後>10人⇒10人(地域枠3人含む)、<推>37人⇒42人 |
| | | | 前期・後期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+理2+外 ※理:化+(物or生)⇒物or化or生 |
| | | 看護 | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+理2+外⇒国+歴公+数2+外+(理or理基2) |
| | | | 後期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+理+外⇒国+歴公+数2+外+(理or理基2) |
| | | 検査技術科学 | 後期 | 共通テスト | 国+数2+理2+外⇒国+歴公+数2+理2+外 |
| 農 | 生物資源環境科学 | 後期 | 募集人員 | 9人⇒7人 | |
| | 生物機能科学 | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数2+理2+外 ※理:物or化or生or地学⇒化+(物or生or地学) | |
| | | 後期 | 共通テスト | 数2+理2+外⇒国+歴公+数2+理2+外 | |
| 共同獣医 | 共同獣医 | 後期 | 共通テスト | 数2+理2+外⇒国+数2+理2+外 | |
| 徳島大 | 面接を課さない学部・学科・専攻 | | 前期 | 選抜方法 | 共通テストおよび個別試験の成績と、調査書の内容を総合的に評価し、A選考、B選考の順で合否判定を行う <A選考>:募集人員の90%程度 共通テストと個別試験の合計点の成績上位者を合格とする選考(調査書は従来通り参考扱い) <B選考>:B選考合格者として想定する2倍程度の人数が対象 「調査書加点制度」を活用し、共通テストと個別試験の合計点と調査書の内容を総合的に評価し選考 ※「調査書加点制度」とは、個別試験の配点5%または10%を上限に個別試験の成績に調査書の評価得点を加点する |
| | | | 後期 | 選抜方法 | 「調査書加点制度」は実施せず、調査書は参考扱いとする |
| | 総合科学 | 社会総合科学 | 前期 | 個別 | <B選考>「調査書加点制度」での調査書の評価得点:5%加点 |
| | 理工 | 理工 | 前期 | 個別 | <B選考>「調査書加点制度」での調査書の評価得点:5%加点 |
| | 医 | 保健/看護 | 前期 | 個別 | 外⇒外+面 |
| | | 保健/放射線 | 前期 | 個別 | 数+理⇒数+理+面 |
| | | 保健/検査技術 | 前期 | 個別 | <B選考>「調査書加点制度」での調査書の評価得点:5%加点 |
| | | 医科栄養 | 前期・後期 | 選抜方法 | <前>20人⇒25人、<後>5人⇒廃止 |
| | 前期 | | 募集人員 | <B選考>「調査書加点制度」での調査書の評価得点:10%加点 | |
| | 歯 | 歯 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>20人⇒24人、<後>10人⇒6人 |
| | 薬 | 創製薬科学 | 前期 | 個別 | <B選考>「調査書加点制度」での調査書の評価得点:5%加点 |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 |
|--------|-----------------------------|--------------|--------------|--|--|
| 徳島大 | 生物資源産業 | 生物資源産業 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>50人⇒48人、<後>20人⇒22人 |
| 鳴門教育大 | 学校教育 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に加点する |
| | | 学校/幼児教育 | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>2人⇒3人、<後>1人⇒廃止 |
| | | 学校/特別支援 | 前期 | 個別 | 論⇒論+面 |
| | | 学校/算数・数学 | 前期 | 個別 | 数⇒数+面 |
| | | 学校/音楽 | 前期 | 個別 | 論+実⇒論+面+実 |
| 香川大 | 医(医)除く | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする |
| | 医 | 医 | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績を出願要件とする |
| | | | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>59人⇒79人、<後>25人⇒廃止 ※前期は(医療推進枠)9人含む |
| | | | 推薦 | 募集人員 | 25人⇒30人 ※(県民医療推進枠)5人含む |
| 愛媛大 | | | 前期・後期 | 個別 | 個別学力試験等には、学部が指定する次のいずれかの方法を含めることで、より多面的・総合的な選抜を行う ①「調査書」②「面接」(調査書を参考とする)③「調査書」と本人が記載する「活動報告書」等の書類 ※いずれの場合も点数化する |
| | 社会共創 | 産業イノベーション | 前期 | 募集人員 | 13人⇒12人 |
| | | 環境デザイン | 前期 | 個別 | 外+面⇒面+総合問題 |
| | | 地域/文化資源 | 前期 | 募集人員 | 8人⇒7人 |
| | | 地域/スポーツ健康 | 前期 | 募集人員 | 12人⇒10人 |
| | 医 | 医 | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜IIを新規実施 募集人員:10人 |
| | | | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>40人⇒55人、<後>25人⇒廃止 |
| | | 前期 | 個別 | 数+理2+外+面⇒数+理2+面+総合問題 ※総合問題の内容は英文読解等 | |
| 福岡教育大 | 教育 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする |
| 九州大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする。提出できない場合は理由書等を提出 |
| | 経済 | 経済・経営 | 前期・後期・総合 | 選抜方法 募集人員 | <前>110人⇒93人、<後>31人⇒26人、<総>新規実施:22人 |
| | | 経済工 | 後期 | 提出書類 | *「志望理由書」の提出 |
| | 芸術工 | インダストリアルデザイン | 前期・推薦 | 選抜方法 募集人員 | <前>(コース別):25人⇒20人、<推>新規実施:5人 |
| | | 未来構想デザイン | 前期・推薦 | 選抜方法 募集人員 | <前>(コース別):15人⇒10人、<推>新規実施:5人 |
| 医 | 保健/看護 | 前期・総合 | 募集人員 | <前>59人⇒58人、<総>9人⇒10人 | |
| 佐賀大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に加点する |
| | 経済、教育、理工、農、芸術地域デザイン(地域デザイン) | | | 選抜方法 | 「特色加点制度」を新規実施 ※「特色加点制度」とは、志願者本人が記載する高校在学中の活動実績資料等を活用し、共通テスト、個別試験とは別に加点枠を設ける |
| 長崎大 | | | | 選抜方法 | *調査書の扱い 調査書を配点の対象とする。その割合は配点合計の10%以下とする <英語認定試験>CEFRとの対照表の水準が「A2」以上であることを出願要件とし、同対照表の水準に応じて共通テストの英語に加点する ※学部・学科等によっては、「B1」以上を出願要件とする場合もある |
| | | | | 個別 | *思考力・判断力・表現力を評価する高度な記述式問題を導入 *面接またはペーパー・インタビュー(面接に代わる筆記試験)を課す ※多文化社会は主体性等の評価において面接(またはペーパー・インタビュー)を実施しない場合がある |
| 熊本大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A1」以上を出願要件とする |
| | 教育 | 養護教諭 | 前期 | 個別 | 数+(国or外)⇒数+面+(国or外) |
| | 医 | 保健/検査技術 | 前期 | 個別 | 数+理2+外⇒数+理2+外+面 |
| 大分大 | 医(医)除く | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に加点する |
| | 教育 | | 後期 | 個別 | 面⇒論+面 |
| | | 学校/小学校 | 前期 | 募集人員 | 80人⇒75人 |
| | 理工 | 創生工/機械 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>44人⇒47人、<後>15人⇒12人 |
| | | 創生工/電気電子 | 後期 | 募集人員 | 10人⇒11人 |
| | | 共創理工/数理科学 | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>11人⇒15人、<後>2人⇒廃止 |
| | | 共創理工/自然科学 | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>10人⇒13人、<後>3人⇒廃止 |
| | | 共創理工/応用化学 | 前期 | 募集人員 | 37人⇒38人 |
| | 医 | 医 | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFR対照表における「A2」以上を出願要件とする |
| | | 保健/看護 | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>35人⇒40人、<後>10人⇒廃止 |
| | | | 前期 | 個別 | 論⇒論+面 |
| 福祉健康科学 | 福祉/理学療法 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>25人⇒22人、<後>5人⇒3人 | |
| | 福祉/社会福祉 | 後期 | 募集人員 | 6人⇒4人 | |
| | 福祉/心理 | 前期・後期 | 選抜方法 募集人員 | <前>30人⇒27人、<後>5人⇒廃止 | |
| 宮崎大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>利用方法については、一定水準以上を出願要件とする方式、共通テストの英語に加点する方式、これらを組み合わせる方式のいずれかとする | |
| 鹿児島大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、指定の基準以上のスコアを提出した者に対し、共通テストの英語において、筆記、リスニングの得点率が80%以上の科目をみなし満点とし、80%未満の科目は、得点の25%を加算する | |
| 鹿屋体育大 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語の合計点のうち2割を配点し、CEFRとの対照表に基づき成績に対して段階的に加点する | |
| | | | 個別 | 実⇒実+(プレゼンテーション+口頭試問) | |
| 琉球大 | 教育(小学校/学校教育、医(医)を除く) | | | 選抜方法 | <英語認定試験>:共通テストの英語の合計点のうち1割程度を配点する |
| | 教育 | 小学校/学校教育 | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語の合計点のうち5割程度を配点する |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 |
|-----------|----------|-----------|--------------------------------------|---|---|
| 琉球大 | 教育 | 小学校/学校教育 | 前期 | 提出書類 | *「志願理由書」の提出 |
| | | | 後期・総合 | 選抜方法 | <後>8人→廃止、<総>新規実施 |
| | | 中学校/生活科学 | 前期 | 個別 | 面⇒論+面 |
| | | | 特別支援 | 前期 | 個別 |
| | 医 | 医 | | | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績を出願要件とする |
| | 農 | | 後期 | 個別 | *個別試験新規実施 面 |
| | | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 | |
| 公立はこだて未来大 | | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>英語認定試験は活用しない |
| 札幌市立大 | 看護 | 看護 | 前期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績を出願要件とする |
| | | | | 共通テスト | 国+数+外+理基2⇒国+数+外+(理2or理基2) |
| | デザイン | デザイン | 前期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績を出願要件とする |
| | | | | 募集人員 | 59人⇒57人 |
| | | | | 個別 | 論or実⇒面+デザイン総合問題 |
| | 後期 | 選抜方法 | 14人⇒廃止 | | |
| | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 募集人員:8人 | | |
| 釧路公立大 | 経済 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、提出した場合は合否判定時の総合評価の資料として活用する |
| 公立千歳科学技術大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に加点する |
| 札幌医科大学 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績を出願要件とする。ただし、出願年度以前(2年以内)に「A2」以上の成績を取得している場合は証明書の提出でも可 |
| 名寄市立大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、共通テストの英語の合計点のうち15%を配点し、CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に加点する |
| | 保健福祉 | 看護、栄養 | 前期・後期 | 共通テスト | 国+数+外+(理or理基2)⇒国+歴公+数+外+(理or理基2) ※数:数①⇒数①or数② ※歴公:世Aor世Bor日Aor日Bor地理Aor地理Bor現or倫or政or倫政 |
| | | | 前期・後期 | 共通テスト | 国+外+(歴公or数)⇒国+歴公+外+(数or理or理基2) ※数:数①⇒数①or数② ※理:物or化or生or地学 ※理基:物基or化基or生基or地基 |
| | 社会福祉 | 前期・後期 | 共通テスト | 国+歴公+外+(数or理or理基2) ※数:数①⇒数①or数② | |
| 社会保育 | 前期・後期 | 共通テスト | 国+歴公+外+(数or理or理基2) ※数:数①⇒数①or数② | | |
| 青森県立保健大 | 健康科学 | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とし、「A2」以上の成績に対して段階的に加点する |
| | | 看護 | 推薦 | 選抜方法 | *学校推薦型選抜(地域定着枠)新規実施 ※AO入試の要素を含めて評価する |
| | | 理学療法 | 前期・後期 | 共通テスト | 国+数2+外+(理2or理基2)⇒国+数2+理2+外 |
| | | | 前期 | 募集人員 | 14人⇒15人 |
| | | 社会福祉 | 前期 | 共通テスト | 国+歴公2+数+外+(理or理基2)⇒国+歴公2+数+外 ※数:数①⇒数①or数② |
| | | | | 個別 | 面⇒論+面 |
| | | 栄養 | 前期 | 共通テスト | 国+歴公2+数+外+(理or理基2)⇒国+歴公+数+外 ※数:数①⇒数①or数② |
| | | | | 共通テスト | 国+数+理2+外⇒国+数2+理2+外 |
| | 後期 | 共通テスト | 数+理+外⇒数2+理+外 | | |
| 青森公立大 | 経営経済 | | | 共通テスト | *記述式問題の活用について 国語の記述式問題は合否判定には用いない |
| | | 前期 | 選抜方法 | <英語認定試験>出願要件として活用し、CEFRの段階別評価は問わない。提出できない場合は理由書の提出を求める | |
| | | 後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>出願要件として活用し、CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に加点する。提出できない場合は理由書の提出を求める | |
| 岩手県立大 | 総合政策 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>英語認定試験は活用しない |
| | | 前期・後期 | 選抜方法 | *調査書の扱い 調査書、志望理由書を10点満点で評価 | |
| | | 後期 | 共通テスト | 国+歴公+数+外+(理or理基2)⇒国+数+外 | |
| | | ソフトウェア情報 | 前期 | 共通テスト | 論⇒総合問題 |
| | | 前期 | 共通テスト | 数2+外+(国or歴公or理or理基2)→2⇒国+数2+外+(歴公or理or理基2) | |
| | | 個別 | 数(数I、数II、数A、数B)⇒数(数I、数II、数III、数A、数B) | | |
| 宮城大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語の合計点のうち2割を配点とし、CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して段階的に加点する |
| | 事業構想、食産業 | 前期・後期 | 提出書類 | *「活動実績報告書(仮)」の提出を必須とし、総点の2%程度を配点する | |
| | 食産業 | 前期・後期 | 個別 | *科目選択区分制度廃止 外+数+理 ※理:物or化or生⇒化or生 | |
| 秋田県立大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して50点満点で段階的に加点する |
| | システム科学技術 | 建築環境システム | 後期 | 募集人員 | 6人⇒8人 |
| | | 経営システム工 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>18人⇒20人、<後>6人⇒8人 |
| | | 機械工 | 前期 | 募集人員 | 34人⇒32人 |
| | | 知能メカトロニクス | 前期・後期 | 募集人員 | <前>30人⇒32人、<後>14人⇒10人 |
| | | 情報工 | 前期・後期 | 募集人員 | <前>18人⇒20人、<後>10人⇒8人 |
| 秋田公立美術大 | 美術 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して50点満点で段階的に加点する |
| | | 前期 | 共通テスト | (国or歴公or数or理or理基2or外)→2 ※国or外から1教科選択⇒国or数or外から1教科選択 | |
| | | 中期 | 共通テスト | 国+外+(歴公or数or理or理基2)⇒(国or歴公or数or理or理基2or外)→3 ※国or数or外から2科目選択 | |
| 山形県立保健医療大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする |
| | 保健医療 | 看護 | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数+外+(理2or(理+理基2))⇒国+歴公+数+外+(理or理基2) |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 |
|-------------------|----------------|-----------------------|-------------|--|---|
| 山形県立 米沢栄養大 | 健康栄養 | 健康栄養 | 前期・後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して共通テストの英語に段階的に加点する |
| 福島県立医科大 | | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉共通テストの英語に加点する |
| | 保健科学 | | | 新設 | 保健科学(理学療法):〈前〉24人程度、(作業療法):〈前〉24人程度、(診療放射線科学):〈前〉15人程度、(臨床検査):〈前〉24人程度 ※すべて仮称 |
| 茨城県立医療大 | 保健医療 | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉共通テストの英語の合計点のうち2割を配点とし、CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に加点する。「B2」以上は共通テストの英語を満点とする |
| 群馬県立 県民健康科学大 | | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉英語認定試験の成績は出願要件とはしないが、提出した場合、英語認定試験の換算点と共通テストの英語の得点を比較し、得点の高い方を判定に用いる |
| | 看護 | 看護 | 前期 | 共通テスト 個別 | 国+数+理+外⇒国+歴公+数+外+(理or理基2) 面⇒論+面 |
| | 診療放射線 | 診療放射線 | 前期 | 共通テスト | 国+数+理2+外⇒数2+外+(国or理)→2 |
| 高崎経済大 | 地域政策 | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉出願要件として活用 |
| | | | 前期 | 個別 | (国or歴公or数or外)→2⇒論+(歴公or数) |
| | | | 後期 | 共通テスト | *5教科選択型の導入 外+(国or歴公or数or理or理基2)→2⇒外+(国or歴公or数or理or理基2)→2or 国+歴公+数+外+(理or理基2) |
| | 経済 | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉必須とはしないが、提出した場合は、個別試験の総合点に加点する |
| | | | 前期 | 個別 | (国or歴公or数or外)→2⇒(国or数or外)→2 |
| 前橋工科大 | 工 | 社会環境工、建築、生命情報、システム生体工 | 前期 | 個別 | 数⇒数+論 |
| | | 社会環境工 | 前期・後期 | 共通テスト | 国+数2+理+外⇒国+数2+理2+外 |
| | | 建築 | 前期 | 共通テスト | 国+数2+理+外⇒国+数2+理2+外 |
| | | | 後期 | 共通テスト | 数2+理+外⇒数2+理2+外 |
| | | 生命情報、システム生体工 | 前期・後期 | 共通テスト | 国+数2+理+外⇒国+数2+理2+外 |
| | | 生物工 | 前期 | 個別 | 理⇒理+論 |
| 埼玉県立大 | | | 前期・後期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉共通テストの英語に加点する |
| 東京都立大 (首都大学東京) | | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉個別試験でCEFRとの対照表を基に配点を行い活用する |
| | | | 前期・後期 | 選抜方法 | *個別学力検査「英語」の廃止 英語認定試験の導入に伴い、個別学力検査「英語」の試験を廃止 |
| | 法 | 法 | 前期・後期・推薦 | 選抜方法 募集人員 | 〈前〉176人⇒150人、〈後〉新規実施:15人、〈推〉20人⇒28人 |
| | 経済経営 | 経済経営 | 前期・推薦・総合 | 募集人員 | 〈前〉一般:110人⇒100人、〈推〉47人⇒50人、〈総〉3人⇒5人 |
| | 人文社会 | | 前期 | 個別 | 国+外+(歴or数)⇒国+論+(歴or数) |
| | | | 後期 | 個別 | *個別試験廃止 |
| | | 人間社会 | 前期・後期・推薦・総合 | 募集人員 | 〈前〉80人⇒70人、〈後〉15人⇒5人、〈推〉8人⇒28人、〈総〉3人⇒2人 |
| | 人文 | | 前期・後期・推薦・総合 | 募集人員 | 〈前〉51人⇒48人、〈後〉10人⇒5人、〈推〉24人⇒29人、〈総〉3人⇒2人 |
| | | 都市環境 | 都市基盤環境 | 前期・後期・推薦 | 募集人員 |
| | 建築 | | 前期・推薦 | 募集人員 | 〈前〉30人⇒27人、〈推〉10人⇒11人 |
| | | 環境応用化学 | 前期・後期・推薦・総合 | 募集人員 | 〈前〉30人⇒25人、〈後〉8人⇒9人、〈推〉19人⇒17人、〈総〉3人⇒7人 |
| | システムデザイン | 情報科学 | 前期・推薦 | 募集人員 | 〈前〉30人⇒22人、〈推〉10人⇒15人 |
| | | 電子情報システム工 | 前期 | 募集人員 | 51人⇒49人 |
| | | 機械システム工 | 前期・後期・推薦 | 募集人員 | 〈前〉54人⇒40人、〈後〉18人⇒19人、〈推〉18人⇒27人 |
| | | 航空宇宙システム工 | 前期・後期・推薦 | 募集人員 | 〈前〉28人⇒26人、〈後〉10人⇒8人、〈推〉7人⇒9人 |
| | | インダストリアルアート | 前期・推薦 | 募集人員 | 〈前〉32人⇒30人、〈推〉10人⇒11人 |
| | 健康福祉 | 看護 | 前期・後期・推薦・総合 | 選抜方法 募集人員 | 〈前〉40人⇒35人、〈後〉5人⇒4人、〈推〉35人⇒40人、〈総〉新規実施:1人 |
| | | 理学療法 | 後期・総合 | 選抜方法 募集人員 | 〈後〉5人⇒4人、〈総〉新規実施:1人 |
| | | 作業療法 | 後期・総合 | 選抜方法 募集人員 | 〈後〉5人⇒3人、〈総〉新規実施:2人 |
| | 神奈川県立 保健福祉大 | | | | 選抜方法 |
| 長岡造形大 | 造形 | | 前期・中期 | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉必須とはしないが、提出した場合は、CEFRレベルに応じ加点する |
| | | (選択A) | 前期 | 共通テスト | 国+外⇒(国or数or外)→2 |
| | | (選択B) | 前期 | 共通テスト | 国+外+(歴公or数or理or理基2)→2⇒国+数+外+(歴公or理or理基2) |
| | 美術・工芸 | | 中期 | 共通テスト | 論⇒提案書(文章と図による) |
| | | | 中期 | 共通テスト | 国+外+(歴公or数or理or理基2)⇒国+外 個別 面⇒面+実 |
| | 建築・環境デザイン | 中期 | 共通テスト | 国+外+(歴公or数or理or理基2)⇒国+数+外 ※数:数Ior数IIor数III | |
| 新潟県立大 | 国際地域 | | | 選抜方法 | 〈英語認定試験〉出願要件として活用し、共通テストの英語とは別に加点する |
| | | | A日程・B日程・C日程 | 募集人員 | 〈A〉60人⇒80人、〈B〉60人⇒40人、〈C〉15人⇒20人 |
| | | | C日程 | 共通テスト | 外⇒国+外 |
| | 人間生活 | 子ども | A日程・B日程 | 募集人員 | 〈A〉8人⇒20人、〈B〉20人⇒8人 |
| | | | A日程 | 共通テスト | 国+外+(歴公or数or理or理基2)⇒国+歴公+数+外+(理or理基2) 個別 *個別試験新規実施 面 |
| | | B日程 | 共通テスト | 国+歴公+数+外+(歴公or理or理基2)⇒国+外+(歴公or数or理or理基2) 個別 外+論⇒論+面 | |
| | | C日程 | 共通テスト | 国+外⇒国+外+(歴公or数or理or理基2) | |
| | | | | | |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 | |
|---------|------------------|-----------|-------------|----------------------------------|--|---|
| 新潟県立大 | 人間生活 | 子ども | C日程 | 個別 | 論+面⇒面 | |
| | | | A日程・B日程・C日程 | 募集人員 | <A>13人⇒15人、15人⇒12人、<C>2人⇒3人 | |
| | | 健康栄養 | B日程 | 共通テスト | 国+歴公+数+外+[理2or(理+理基2)]⇒国+歴公+数+外+(理or理基2) ※理:化+[物or生or{(物基or化基or生基)→2}]⇒(物or化or生)or{(物基or化基or生基)→2} | |
| | | | C日程 | 個別 | *個別試験新規実施 面 | |
| 新潟県立看護大 | 看護 | 看護 | 選抜方法 | <英語認定試験>英語認定試験は活用しない | | |
| | | | 前期 | 個別 | 面⇒論+面 | |
| 石川県立大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に加点する | |
| 石川県立看護大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して加点する | |
| 金沢美術工芸大 | | | 中期 | 選抜方法 | <英語認定試験>加点方式を活用する | |
| | | | | 個別 | *面追加 | |
| 公立小松大 | 国際文化交流 | 国際文化交流 | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に加点する | |
| 敦賀市立看護大 | 看護 | 看護 | | 選抜方法 | <英語認定試験>英語認定試験は活用しない | |
| 福井県立大 | 経済 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする | |
| | 看護福祉、生物資源、海洋生物資源 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、①、②のうち高得点のものを利用 ①共通テストの英語を所定の割合に圧縮し、残りの割合については、英語認定試験を点数化し加点する ②共通テストの英語 | |
| | | | | 看護福祉 | 看護 | 前期 |
| | 看護福祉 | | | 後期 | 個別 | 数+外⇒面 |
| | | | | 看護(地域枠) | 前期 | 選抜方法 |
| | 生物資源 | 生物資源 | | 前期・後期 | 募集人員 | <前>18人⇒(試験A)10人、(試験B)7人、<後>16人⇒17人 |
| | | | | 前期 | 共通テスト | *選択パターンに試験A追加、現行の選択パターンを試験Bに名称変更 試験A: 国+数2+理2+外 試験B: 外+(理or理基2) |
| | | | | 後期 | 共通テスト | 数2+外+(国or歴公)+(理or理基2)⇒国+数2+外+(理or理基2) |
| 海洋生物資源 | 海洋生物資源 | 前期・後期・総合 | 募集人員 | <前>19人⇒25人、<後>19人⇒10人、<総>新規実施:5人 | | |
| 山梨県立大 | 国際政策 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする | |
| | 人間福祉 | 福祉コミュニティ | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする | |
| | | 人間形成 | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A1」以上の成績を出願要件とする | |
| | 看護 | 看護 | 前期 | 募集人員 | 18人⇒16人 | |
| | | | 前期・後期 | 共通テスト | *外の英語にリスニング追加 | |
| 長野大 | | | 前期 | 提出書類 | *「業績書」の提出 | |
| | | | 中期 | 個別 | *調査書を点数化して判定に活用 | |
| 長野県看護大 | 看護 | 看護 | 中期 | 日程変更 | *入試日程変更 後期日程⇒中期日程 | |
| 岐阜薬科大 | 薬 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>英語認定試験の結果をCEFRの段階評価により加点する | |
| 静岡県立大 | 経営情報 | 経営情報 | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績、または「A2」以上に相当する英語力があると認められることが明記された証明書を出願要件とする | |
| | 国際関係、薬、食品栄養科学 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRの段階評価により共通テストの英語における満点の2割程度を上限に加点 | |
| | | | | 国際関係 | 前期・推薦 | 募集人員 |
| | 看護 | 看護 | 国際言語文化 | 前期・推薦 | 募集人員 | <前>94人⇒84人、<共通テストを免除する推薦>18人⇒28人 |
| | | | 前期 | 個別 | 外+面⇒面 | |
| | 静岡文化芸術大 | 文化政策 | 国際文化、文化政策 | 後期 | 個別 | 国⇒面 |
| 芸術文化 | | | 後期 | 個別 | 国+面⇒面 | |
| 愛知県立大 | | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語と併用し、①、②のうち高得点のものを利用 ①共通テストの英語の得点を75%に圧縮し、残りの25%は英語認定試験の結果をCEFRの段階評価で加点する ②共通テストの英語の得点 | |
| 名古屋市立大 | 経済、芸術工 | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に加点する | |
| | 人文社会 | 心理教育、現代社会 | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、共通テストの英語リスニングの得点を20点満点に換算した得点とCEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に換算した得点を比較し、高得点のものを加点する | |
| | | 国際文化 | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、共通テストの英語リスニングの得点を50点満点に換算した得点と共通テストの英語リスニングの得点を30点満点に換算した得点とCEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に換算した得点を加点した得点を比較し、高得点のものを加点する | |
| | 総合生命理 | 総合生命理 | 後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に加点する | |
| | | | | 個別 | 数+理+論 ※理:物、化、生から各2問、計6問のうちから4問選択⇒物or化or生から1科目選択 | |
| | 芸術工 | 情報環境デザイン | 前期・後期 | 募集人員 | <前>13人⇒16人、<後>13人⇒10人 | |
| | | 産業イノベーション | 前期・後期 | 募集人員 | <前>13人⇒16人、<後>13人⇒10人 | |
| | 医 | 医 | | 前期 | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、共通テストの英語リスニングの得点を25点満点に換算した得点とCEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して段階的に換算した得点を比較し、高得点のものを加点する |
| | | | | 募集人員 | 70人⇒60人 | |
| | | | | 共通テスト | 国+歴公+数2+理2+外 ※理:物or化or生or地学⇒物+化 | |
| 個別 | | | | 数+理2+外+面 ※理:物or化or生⇒物+化 | | |
| 医 | 医 | | 推薦 | 選抜方法 | *「名古屋市高大接続推薦入試」新規実施 募集人員:3人 対象者:名古屋市立高等学校長から推薦のある者。その他の要件は現行の「推薦B」方式に準ずる | |
| | | | 募集人員 | <推薦入試B>:20人⇒<中部圏推薦>:27人 | | |
| 医 | 医 | | 推薦 | 共通テスト | 国+歴公+数2+理2+外 ※理:物or化or生⇒物or化 | |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 | |
|----------|-----------|----------------------|-------|--|--|--|
| 名古屋市立大 | 薬 | | 中期 | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に加点する | |
| | 看護 | 看護 | 前期 | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、CEFRとの対照表に基づき「A2」以上の成績に対して段階的に加点する | |
| 滋賀県立大 | 工 | 機械システム工、材料科学、電子システム工 | 推薦 | 選抜方法 | *「学校推薦型選抜C(地域等の条件を付さない)」の新規実施 | |
| 京都市立芸術大 | 音楽 | 音楽/作曲、指揮 | 後期 | 共通テスト | 国+外⇒国+外+(歴公or数) | |
| 京都府立医科大 | 医 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績、または「A2」以上に相当する英語力があると認められることが明記された証明書を出願要件とする | |
| | | 医 | 前期 | 個別 | 数+理2+外+面⇒数+理2+外+面+論 | |
| | | 看護 | 前期 | 個別 | 論⇒総合問題 ※総合問題の内容は英語と小論文 | |
| 大阪市立大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績、または「A2」以上に相当する英語力があると認められることが明記された証明書を出願要件とする。どちらも提出できない場合は、理由書を提出 | |
| | 商 | | 前期 | 共通テスト | 国+歴公2+数2+外+(理or理基2) ※公:現or倫政⇒現or倫or政or倫政 | |
| | 医 | 看護 | 前期 | 個別 | 外+(国or数)⇒数+外 | |
| 大阪府立大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績、または「A2」以上に相当する英語力があると認められることが明記された証明書を出願要件とする | |
| | 生命環境科学 | 緑地環境科学 | 後期 | 共通テスト | 数2+理2+外⇒国+数2+理2+外 | |
| | | 理(数学重点) | 前期 | 個別 | 数+理2+外⇒数+理+外 ※理:物or化or生⇒物+化 | |
| | | | 後期 | 共通テスト | 理2+外⇒国+理2+外 | |
| | | 理(物理重点) | 後期 | 共通テスト | 数2+外⇒国+数2+外 | |
| | | 理(化学重点) | 後期 | 共通テスト | 数2+理2+外⇒国+数2+理2+外 | |
| | | 理(生物重点) | 後期 | 共通テスト | 数2+理+外⇒国+数2+理+外 | |
| | 地域保健 | 看護 | 前期 | 選抜方法 | *受験区分(理系型)、(文系型)の新規実施 | |
| | | | 後期 | 個別 | 論⇒面 | |
| | | 総合/作業療法 | 後期 | 共通テスト | 数+外+(理or理基2)⇒国+数2+外 ※数:数①⇒数①+数② | |
| 教育福祉 | | 後期 | 共通テスト | 国+外+(歴公or数or理or理基2)⇒国+数+外+(歴公or理or理基2) | | |
| 神戸市外国語大 | 外国語 | | 前期・後期 | 選抜方法 | *英語科目の取扱いについて原則、共通テストおよび英語認定試験の双方を受験し、共通テストと認定試験の得点の双方を比較して高得点のものを選抜に利用する。ただし、英語認定試験を受験できない受験生については、共通テストのみでの受験を認める | |
| 神戸市看護大 | 看護 | 看護 | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とし、「C1」「C2」は共通テストの英語を満点とする | |
| 奈良県立医科大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績、またはそれに相当する能力を有する旨が示された調査書を出願要件とする | |
| 和歌山県立医科大 | 薬 | | | 新設 | 薬:定員100人 ※仮称 | |
| | 医 | 医 | 前期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする | |
| | 保健看護 | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表による「A2」以上の成績を出願要件とする | |
| | | 後期 | 提出書類 | *「総合的な評価のための申告書」の提出 | | |
| 島根県立大 | 人間文化、看護栄養 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>英語認定試験の成績の提出は任意とする。提出しない場合は共通テストの英語の成績をそのまま利用する | |
| 岡山県立大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>加点方式を採用する | |
| | | | | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 | |
| 県立広島大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して共通テストの英語に10点満点で段階的に加点する | |
| 広島市立大 | 国際 | 国際 | | 選抜方法 | <英語認定試験>出願要件として活用し、CEFRとの対照表に基づき「B1」以上の成績に対して共通テストの英語に20点を加点、「B2」以上の成績は共通テストの英語を満点とみなす。受験年度の成績が提供できない場合は、受験年度の前々年度までの成績または理由書の提出で代替する。ただし、その場合は加点の対象とはならない | |
| | | | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 | |
| | | | 前期・後期 | 共通テスト | 外+(国or歴公or数or理or理基2)⇒2⇒国+外+(歴公or数or理or理基2) | |
| | | | 前期 | 個別 | 論⇒総合問題 | |
| | | | 後期 | 募集人員 | 20人⇒15人 | |
| | | | | 個別 | 総合問題⇒論 | |
| | 情報科学 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>出願要件として活用し、CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して共通テストの英語に20点満点で段階的に加点する。受験年度の成績が提供できない場合は、受験年度の前々年度までの成績または理由書の提出で代替する。ただし、その場合は加点の対象とはならない |
| | | | | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 |
| | | | | 前期・後期 | 募集人員 | <前>130人⇒120人、<後>40人⇒35人 |
| | | | | 前期 | 個別 | 数+理+外⇒数 |
| | | | | 後期 | 共通テスト | 数2+理+外 ※理:物⇒物or化or生 |
| | | | | | 募集人員 | 20人⇒15人 |
| | 芸術 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績に対して共通テストの英語に20点満点で段階的に加点する。 |
| | | | | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 |
| | | | | デザイン工芸 | 前期 | 募集人員 |
| 美術/油絵 | | | | 前期 | 募集人員 | 20人⇒15人 |
| 美術/日本画 | | | | 前期 | 選抜方法 | *入試日程変更 後期日程:10人⇒前期日程:8人 |
| 福山市立大 | | | 前期・後期 | 個別 | 個別試験では、現代社会の課題を題材とする「総合問題」(記述式問題を含む)を課す | |
| 下関市立大 | 経済 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>共通テストの英語に加点する 共通テスト「英語」と「英語+英語認定試験」のうち、得点割合の高い方を採用 | |
| 山口県立大 | 社会福祉 | 社会福祉 | 前期 | 個別 | 論⇒面 | |
| | 国際文化 | 国際文化 | 前期・後期 | 共通テスト | 国+外+(歴公or数or理or理基2)⇒2⇒国+外+(歴公or数or理or理基2) | |
| | 看護栄養 | 栄養 | 前期 | 共通テスト | 国+歴公+数+外+(理2or理+理基2)⇒国+歴公+数+外+(理or理基2) ※理:物or化or生or地学⇒物or化or生 ※理基:物基or化基or生基or地基⇒物基or化基or生基 | |
| | | | 後期 | 共通テスト | 数2+理2+外⇒国+歴公+数+外+(理or理基2) ※理:物or化or生or地学⇒物or化or生 | |

| 大学 | 学部 | 学科/専攻(方式) | 日程 | 項目 | 入学者選抜試験内容 |
|------------------------|---------|-----------|-------|-----------------------|--|
| 香川県立 保健医療大 | 看護 | | | 選抜方法 | <英語認定試験>出願要件として活用 |
| | | | 前期・後期 | 個別 | 面⇒論+面 |
| | 臨床検査 | | 前期 | 選抜方法 | <英語認定試験>加点方式を採用する |
| 愛媛県立 医療技術大 | | | | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFRとの対照表に基づき「A1」以上の成績を出願要件とする |
| 高知県立大 | 健康栄養 | 健康栄養 | 前期 | 共通テスト | 国+数+外+(理or理基2) ※理:物or化or生or地学⇒物or化or生 |
| 福岡女子大 | 国際文理 | 環境科学 | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 募集人員:2人 |
| | | 食・健康 | 総合 | 選抜方法 | *総合型選抜新規実施 募集人員:2人 |
| 熊本県立大 | | | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>必須とはしないが、成績は利用する |
| 大分県立 看護科学大 | 看護 | 看護 | 前期 | 共通テスト | 国+数2+理2+外⇒国+歴公+数2+外+(理2or(理+理基2)) |
| 宮崎県立看護大 | 看護 | 看護 | | 選抜方法 | <英語認定試験>出願要件として活用 |
| 沖縄県立看護大 | 看護 | 看護 | 前期・後期 | 選抜方法 | <英語認定試験>CEFR対照表における「A2」以上を出願要件とする |
| | | | | 共通テスト | 国+歴公+数2+理2+外⇒国+歴公+数+外+(理or理基2) ※数:数①+数②⇒数① ※理:生+(物or化)⇒生 |
| | | | 前期 | 個別 | 論+面⇒面+学力試験+実績評価(調査書+実績報告書) |
| | | | 後期 | 募集人員 | 10人⇒5人 |
| | | | 個別 | 論+面⇒面+実績評価(調査書+実績報告書) | |
| 兵庫県立 国際観光芸術 専門職大 | 文化・観光創造 | | | 開学 | 兵庫県立国際観光芸術専門職大(文化・観光創造):定員80人 ※すべて仮称 |